



2026年5月15日

各 位

会社名 株式会社東海理化
(登記社名 株式会社東海理化電機製作所)
代表者名 代表取締役社長 二之夕 裕美
(コード番号 6995 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 経理部長 清水 寛亮
TEL (0587) 95-5211

(訂正・数値データ訂正) 「2026年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に
ついて

当社は、2025年10月30日に開示いたしました「2026年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2026年5月15日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月30日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所 上場取引所 東 名
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二之夕 裕美
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 清水 寛亮 TEL 0587-95-5211
 半期報告書提出予定日 2025年10月30日 配当支払開始予定日 2025年11月26日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	314,823	3.6	21,345	14.8	25,180	72.8	19,463	82.0
2025年3月期中間期	303,972	△1.1	18,594	△7.7	14,575	△47.2	10,693	△47.5

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 22,915百万円 (-%) 2025年3月期中間期 △1,335百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	228.73	-
2025年3月期中間期	126.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	529,027	347,262	61.5
2025年3月期	510,894	329,699	60.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 325,511百万円 2025年3月期 307,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	45.00	-	50.00	95.00
2026年3月期	-	55.00	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	-	-	50.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	0.4	29,000	△17.8	34,000	△0.9	26,000	△0.2	305.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
注) 詳細は、添付資料P. 7 「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	89,234,171株	2025年3月期	94,234,171株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,125,427株	2025年3月期	9,195,446株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	85,092,240株	2025年3月期中間期	84,590,075株

注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(中間期)の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当中間連結会計期間において、連結業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 中間連結貸借対照表	P. 3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 5
中間連結損益計算書	P. 5
中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績につきましては、連結売上高は314,823百万円と、前年同期に比べ10,851百万円(3.6%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は21,345百万円と、前年同期に比べ2,750百万円(14.8%)の増益となりました。連結経常利益は25,180百万円と、前年同期に比べ10,604百万円(72.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は19,463百万円と、前年同期に比べ8,770百万円(82.0%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

客先生産台数の増加などにより、売上高は157,981百万円と、前年同期に比べ8,653百万円(5.8%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、合理化努力などにより、1,270百万円と、前年同期に比べ659百万円(108.0%)の増益となりました。

(北米)

客先生産台数の増加などにより、売上高は87,148百万円と、前年同期に比べ4,543百万円(5.5%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、合理化努力などにより、6,180百万円と、前年同期に比べ2,152百万円(53.4%)の増益となりました。

(アジア)

為替換算上の影響があったものの、客先生産台数の増加などにより、売上高は96,060百万円と、前年同期に比べ1,383百万円(1.5%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、合理化努力などにより、12,155百万円と、前年同期に比べ604百万円(5.2%)の増益となりました。

(その他)

売上高は23,687百万円と、前年同期に比べ1,461百万円(△5.8%)の減収となりました。営業利益は1,947百万円と、前年同期に比べ66百万円(3.5%)の増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、有価証券の増加などにより、529,027百万円と、前連結会計年度末に比べ、18,132百万円増加いたしました。負債は、181,764百万円と、前連結会計年度末に比べ、569百万円増加いたしました。純資産は、利益剰余金の増加などにより347,262百万円と、前連結会計年度末に比べ、17,563百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年4月24日の「2025年3月期 決算短信」で公表しました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,074	79,931
受取手形及び売掛金	81,774	83,542
電子記録債権	11,823	11,954
有価証券	23,198	35,214
商品及び製品	26,131	28,414
仕掛品	41,838	42,316
原材料及び貯蔵品	9,339	9,754
その他	16,468	15,325
貸倒引当金	△43	△49
流動資産合計	285,604	305,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,280	46,116
機械装置及び運搬具（純額）	35,807	43,141
その他（純額）	43,504	40,806
有形固定資産合計	123,591	130,064
無形固定資産		
その他	4,445	4,648
無形固定資産合計	4,445	4,648
投資その他の資産		
投資有価証券	32,579	22,678
退職給付に係る資産	49,969	50,644
その他	14,782	14,666
貸倒引当金	△79	△79
投資その他の資産合計	97,252	87,909
固定資産合計	225,289	222,621
資産合計	510,894	529,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,306	54,452
電子記録債務	9,605	9,211
未払法人税等	<u>2,475</u>	<u>4,320</u>
賞与引当金	11,373	9,532
製品保証引当金	12,244	12,079
その他の引当金	1,227	1,140
その他	42,872	40,552
流動負債合計	<u>131,106</u>	<u>131,288</u>
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	270	260
退職給付に係る負債	20,055	20,181
資産除去債務	72	72
その他	<u>19,689</u>	<u>19,962</u>
固定負債合計	<u>50,088</u>	<u>50,475</u>
負債合計	<u>181,194</u>	<u>181,764</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	<u>25,639</u>	<u>25,248</u>
利益剰余金	<u>233,047</u>	<u>238,302</u>
自己株式	<u>△19,001</u>	<u>△8,519</u>
株主資本合計	<u>262,542</u>	<u>277,888</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,068	4,788
為替換算調整勘定	<u>23,265</u>	<u>26,757</u>
退職給付に係る調整累計額	<u>17,021</u>	<u>16,076</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>45,356</u>	<u>47,622</u>
非支配株主持分	21,801	21,751
純資産合計	<u>329,699</u>	<u>347,262</u>
負債純資産合計	<u>510,894</u>	<u>529,027</u>

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	303,972	314,823
売上原価	<u>259,832</u>	<u>266,952</u>
売上総利益	<u>44,139</u>	<u>47,870</u>
販売費及び一般管理費	<u>25,545</u>	<u>26,525</u>
営業利益	<u>18,594</u>	<u>21,345</u>
営業外収益		
受取利息	675	656
受取配当金	318	210
持分法による投資利益	357	400
為替差益	—	1,566
その他	485	1,526
営業外収益合計	<u>1,836</u>	<u>4,362</u>
営業外費用		
支払利息	21	33
為替差損	5,375	—
固定資産除売却損	—	430
その他	457	62
営業外費用合計	<u>5,854</u>	<u>526</u>
経常利益	<u>14,575</u>	<u>25,180</u>
特別利益		
固定資産売却益	781	—
投資有価証券売却益	2,336	2,566
特別利益合計	<u>3,118</u>	<u>2,566</u>
特別損失		
減損損失	302	82
特別損失合計	<u>302</u>	<u>82</u>
税金等調整前中間純利益	<u>17,391</u>	<u>27,664</u>
法人税等	<u>5,927</u>	<u>7,228</u>
中間純利益	<u>11,464</u>	<u>20,436</u>
非支配株主に帰属する中間純利益	<u>771</u>	<u>973</u>
親会社株主に帰属する中間純利益	<u>10,693</u>	<u>19,463</u>

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	11,464	20,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,672	△177
為替換算調整勘定	△4,692	3,724
退職給付に係る調整額	△1,238	△948
持分法適用会社に対する持分相当額	△195	△119
その他の包括利益合計	△12,800	2,479
中間包括利益	△1,335	22,915
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,770	21,729
非支配株主に係る中間包括利益	434	1,186

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	119,061	82,455	77,557	279,074	24,897	303,972	—	303,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,267	149	17,119	47,536	250	47,786	△47,786	—
計	149,328	82,605	94,677	326,610	25,148	351,759	△47,786	303,972
セグメント利益	610	4,027	11,551	16,189	1,881	18,070	523	18,594

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額523百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	125,909	87,058	78,465	291,434	23,389	314,823	—	314,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,071	89	17,594	49,755	298	50,054	△50,054	—
計	157,981	87,148	96,060	341,190	23,687	364,877	△50,054	314,823
セグメント利益	1,270	6,180	12,155	19,606	1,947	21,554	△209	21,345

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△209百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月24日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、2025年5月30日付で、自己株式5,000,000株の消却を実施いたしました。当該消却により、当中間連結会計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ10,339百万円減少しております。また、この結果生じたその他資本剰余金の負の残高9,938百万円について、利益剰余金（繰越利益剰余金）から同額を振り替え処理しております。この結果等により、当中間連結会計期間末において資本剰余金が25,248百万円、利益剰余金が238,302百万円、自己株式が8,519百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。